

(臨床研究に関する公開情報)

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しており、「●対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

重症食物アレルギー児の残血清二次利用による経口免疫療法の免疫学的検討

[研究責任者] 佐藤 さくら

[研究の背景]

近年、重症の食物アレルギーに対する経口免疫療法の有用性が知られてきており、治療により特異的IgE抗体の変化などがみられることがわかっています。一方で、食品によってはその食品の中で特にアレルゲンとして重要なタンパク質(コンポーネント)など、解明されていない部分もあります。

[研究の目的]

免疫療法を行った患者さんの抗体の変化などを、免疫療法を行っていない重症食物アレルギー患者さんの検査データと比較し調べることで食物アレルギーの診断や重症度の予測などに重要な免疫の仕組みを解明することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2013年以降に当院で食物アレルギーに対する経口免疫療法を実施した方、および、経口免疫療法の適応となるような重症アレルギー(少量で症状が出る方や、アナフィラキシーなど重度の症状が出る方)で、当院にて血液検査を行なった方

●研究期間：2025年2月18日から2027年12月31日

●利用する検体、カルテ情報

検体：血液(診療または他の研究で使用した余りの検体で保管することに以前同意をいただいたもの)

カルテ情報：

年齢、性別、生年月日、アレルギー疾患の既往、アレルギー疾患の家族歴等)
血液検査データ(CBC、白血球分画、特異的IgE抗体)

食物経口負荷試験データ

治療（投与薬剤、免疫療法）

治療反応性・予後

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用しますが、検体は MacroArrayDx 社に配送し、測定されます。測定後は速やかに個人を識別できないように適切に廃棄します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の参加について]

この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡いただくか研究参加拒否書に署名し、日付を記入して研究責任者等に渡してください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によってはこの研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 部長 佐藤 さくら
電話 042-742-8311（代表） FAX 042-742-5314